

平成 26 ( 2014 ) 年度 教員活動報告書 ( 1/4 )

学部・学科	総合社会学部・総合社会学科	職名	教授	氏名	コバヤシ 小林 ヤスマサ 康正
学歴	昭和61年 3月 早稲田大学第一文学部史学科卒業 平成元年 3月 駒澤大学大学院人文科学研究科 ( 修士課程 ) 社会学専攻修了				
学位	平成元年 3月 社会学修士 ( 駒澤大学 )				
専門分野	民俗学、大衆文化論、身体技法論				
専門資格					
所属学会	平成18年 3月 「宗教と社会」学会 平成23年 7月 メディア史研究会				
受賞					
担当 授業科目	学 部 民俗学、日本地域研究、メディア史、卒業研究演習 ・ 、初年次演習、総合社会学基礎演習、 総合社会学演習 ・ 、社会人の教養A、卒業論文				
論文指導	論文指導担当[主査] ( 卒論 : 3 名 )				
F D 活 動 ・ 教 育 実 績	科目名 初年次演習	科目カテゴリー 講義・演習・実習・実験	実施学期 春・秋	履修者数 11名	
	授業の概要： 大学での学びに対する導入・転換教育。				
	教育活動の振り返り 学部単位の連携教育を実施したほか、レポート作成技術を身に付けるために「書く技法」とも連携を行った。				
	活動の成果： アンケート結果によれば、学生の取り組みの熱心さと理解度においては、きわめて高い評価を得た。 今後の課題： 予習時間において2時間以上の学生がいる一方、30分以下の学生が約半数おり、グループ学習における課題の適切な配分に問題があることが窺われた。				
	科目名 総合社会学演習	科目カテゴリー 講義・演習・実習・実験	実施学期 春・秋	履修者数 11名	
	授業の概要： 3年次の本格的な研究を実施する準備としてのゼミ。学生各自が個人テーマを設定して研究を進めた。				
	教育活動の振り返り教育活動の成果： 職業意識の涵養のために、副読本を講読した。また、その成果をもとに本学の職員との交流会を実施した。 今後の課題： 特になし。				
・学内外のFD関連講演会/セミナー等への参加実績 学内第1回FD講演会「京都文教大学の初年次教育を考える～ジェネリック・スキルを育てるための科目間連携～」への参加。グループワークにおいて教員間の連携を進めるために導入的仕組みについて検討した。					
・教育効果が高い、あるいは教育の一環として行われている課外活動等 特になし。					

平成 26 (2014) 年度 教員活動報告書 (2/4)

<p>H26 年度 研究課題</p>	<p>1. 近代における異端的実践に関する研究 2. 現代の名づけに関する研究</p>
<p>研究活動の概要 (平成二十六年(2014)年度)</p>	<p>現代の名づけに関して、日本を中心に研究を進めたが、アメリカ合衆国での名づけ事情に関しての資料も収集し、比較の視点を準備した。成果については平成27年度以降に発表する予定である。</p>
<p>平成二十六年(2014)年度の主な研究成果等</p>	<p>(著書) (論文) (学会報告、学会活動) (その他、エッセイ・翻訳・学術講演等) (調査活動) 平成27年 2月 多磨霊園(東京都)における墓地の現況調査 (学外研究資金による研究活動・科学研究費補助金等含) (学内活動) 人間学研究所長、自己点検・評価委員会委員、自己点検・評価 教育研究専門委員会委員、広報委員会委員、人間学研究所所員  平成27年1・2月 人間学研究所長として、人間学研究所主催のイベント「映画『ASAHIZA 人間は、どこへ行く』上映会」を学内学外にて実施した。</p>
<p>平成二十六年(2014)年度の社会における活動</p>	<p>平成26年12月 1. 『読売新聞』12月16日付記事「子どもの名づけ様変わり」取材協力 2. 『週刊女性』12月16日号記事「わが子の名前に込める“親の願い”はどう変わった」取材協力 平成27年 1月 『産経ニュース』【日本の議論】「男の子は「蓮」、女の子は「陽菜」が1位の子供の名前ランキング...「正一」「千代」の大正時代から見ると浮かび上がる“世相”」への取材協力 平成27年 2月 「広野今昔しゃべり場」への参加、於：宇治市広野公民館</p>
<p>平成二十一年～二十五年(2009～2013)年度の主な研究成果等</p>	<p>(著書) 1. 『名づけの世相史 「個性的な名前」をフィールドワーク』、単著、平成21年10月、風響社、京都文教大学文化人類学ブックレット 4(72p) (論文) 1. 「都市をコーディネートする 無縁墓をめぐる「墓相家」の実践を中心に」、単著、平成23年3月、京都文教大学 人間学部研究報告第12集(pp.1-31) 2. 「墓相家・松崎整道の活動とその周辺に関する一考察 仏教出版ネットワーク、地蔵流しなどを中心に」(研究ノート)、単著、平成24年3月、京都文教大学 人間学部研究報告第13集(pp.25-31) (学会報告、学会活動) 1. 口頭発表「墓相学の社会的実践 松崎整道と「徳風会」の活動を中心に」、平成22年6月、「宗教と社会」学会第18回学術大会、立命館大学 (その他、エッセイ・翻訳・学術講演等) 1. 「塔の上の子どもたち 「読めない名前」を呼びかける」、平成23年5月、富士ゼロックス 広報誌 『グラフィケーション』2011年5月号(pp.14-17) 2. 巻頭言「震災復興と新しい墓のゆくえ」、単著、平成24年11月、公益財団法人 後藤・安田記念東京都市研究所 都市問題第103巻第11号(p.1)</p>

平成 26 (2014) 年度 教員活動報告書 (3/4)

平成二十一～二十五 (2009～2013) 年度の主な研究成果等	<p>(調査活動)</p> <p>平成21年度 東京・大阪・京都他(寺院墓地の変遷に関する調査)</p> <p>平成22年度 大阪・京都における寺院墓地の調査</p> <p>平成23年度 京都府宇治市内、京都市伏見区内における墓相学に関する調査</p>
	<p>(学外研究資金による研究活動・科学研究費補助金等含)</p> <p>(学内活動)</p> <p>平成20年 4月 教務委員会委員「平26.3まで」 教職課程委員会委員「平22.3まで」</p> <p>平成21年 4月 自己点検・評価 教育研究専門委員会委員「現在に至る」 FD委員会委員「平26.3まで」 人間学部(現・総合社会学部)研究報告編集委員会委員「平25.3まで」 公開講座委員会(短大・地域連携委員会)委員「平22.3まで」</p> <p>平成22年 4月 教務部長「平26.3まで」 大学教学会議委員「平26.3まで」 大学運営会議委員「平26.3まで」 広報委員会委員「現在に至る」 自己点検・評価委員会委員「現在に至る」 自己点検・大学院委員会委員「平26.3まで」 自己点検・評価 管理運営専門委員会委員「平26.3まで」 自己点検・評価 学生サービス専門委員会委員「平26.3まで」 人事委員会委員「平26.3まで」 入試委員会委員「平25.3まで」 高大連携委員会委員「平26.3まで」</p> <p>平成23年 4月 キャンパス・ハラスメント防止対策委員会委員「平26.3まで」</p> <p>平成24年 4月 FD作業員会委員長「平26.3まで」</p>
平成二十一～二十五 (2009～2013) 年度の社会における活動	<p>(自治体、行政等 官公庁からの委託事業や委員の囑託)</p> <p>平成22年 8月 平成22年度教員免許状更新講習「校外学習に活かすフィールドワーク」講師、於：京都文教大学</p>
	<p>(小中高との連携授業の講師)</p> <p>平成21年度 高大連携：ドイツ修学旅行フィールドワーク教育プログラム、於：私立上宮高等学校(大阪)</p> <p>平成22年度 奈良県立平城高等学校における出張授業講師</p> <p>平成23年 4月 京都文教高等学校ALP講座、対象：3年生、於：私立京都文教高等学校</p> <p>平成23年 9月 ドイツ修学旅行フィールドワーク教育プログラム、於：私立上宮高等学校(大阪)</p> <p>平成23年11月 京都文教高等学校ALP講座、対象：2年生、於：私立京都文教高等学校</p> <p>平成24年 9月 ドイツ修学旅行フィールドワーク教育プログラム、於：私立上宮高等学校(大阪)</p> <p>平成24年11月 京都文教高等学校ALP講座、対象：3年生、於：私立京都文教高等学校</p> <p>(その他)</p> <p>平成22年 8月 FMラジオ・TOKYO FM 番組「シナプス」に出演(テーマ：「読めない名前」はなぜ増えるのか)</p> <p>平成22年 9月 NHK総合テレビ「国民的ことばバラエティー みんなでニホンGO! 漢字スペシャル・後編」に出演(テーマ：「ユニークな名前どう思う?」)</p> <p>平成22年11月 アスニー・セミナー 講師、「名づけの世相史 名前の過去と現在」、於：京都アスニー</p>

平成 26 (2014) 年度 教員活動報告書 (4/4)

平成二十一  
～二十五  
(2009～2013)  
年度の社会における活動

(その他 つづき)

- 平成23年 4月 テレビ東京系教養・ドキュメンタリー番組「たけしのニッポンのミカタ! 今どきの日本人はなぜ なのか? 徹底解明スペシャル」に出演
- 平成23年 5月 日本テレビ系列情報番組「ZIP!」に出演
- 平成23年10月 『朝日新聞』全国版夕刊 記事「知遊自在 仮面は隠さない」にコメント掲載
- 平成24年 3月 1. 「世相診断社会を見る眼「キラキラネーム」はなぜ増えた? 読めない名前・男女性別のわからない名前が急増中」(インタビュー記事) 社団法人実践倫理宏正会『倫風』第62巻第3号(pp.76-81)  
2. 『朝日新聞』全国版「be」 記事「サザエさんをさがして「愛犬の名前」」にコメント掲載
- 平成24年 6月 『新潮45』(2012年7月号) 福田ますみ「キラキラネーム大研究 個性という呪縛」取材協力
- 平成24年 8月 1. 『産経新聞』(2012年8月10・15日朝刊)「金曜討論「奇抜な名前 小林康正氏、牧野恭仁雄氏」取材協力  
2. 静岡エフエム番組Rainbow Fly-Day(2012年8月24日放送)「キラキラネーム、DQNネームについて、皆さんはどう思いますか?」コメントのための取材協力
- 平成24年 9月 『西日本新聞』(2012年9月25日朝刊)「キラキラネームは何を映す 時代の欠乏感が表れる名前 個性見いだせぬ社会の裏返し?」取材協力
- 平成24年11月 『読売新聞』(2012年11月29日夕刊)「心 占い 人はなぜ占い好きなのか 小林・京都文教大教授」記事
- 平成25年 1月 『読売新聞』(2013年1月1日朝刊)「キラキラネーム輝け 「個性を」夫婦の願い」取材協力
- 平成25年 4月 『神戸新聞』(4月1日～5日)「キラキラネーム イマドキの命名事情(1～5)」取材協力・コメント掲載
- 平成25年 6月 『週刊現代』2013年7月6日号「これがいまどきの名前です キラキラネームの過激化が止まらない」コメント掲載
- 平成25年 7月 1. 『女性セブン』13年7月18日号「芸能界に大増殖 松島尚美は娘に「空詩」!...キラキラネーム一覧」コメント掲載。  
2. 『Grazia』2013年8月号(No.209)「今は“名づけの歴史的転換期”。新しい名前が揶揄されがちな時代。」(特集「きらきらネーム時代のキャリアと子育て」コメント記事)(p.143)
- 平成25年 8月 1. 日本テレビ「NEWS ZERO」(2013年8月7日)ビデオコメント出演。  
2. STV(札幌テレビ放送)「STVニュース どさんこワイド179「いわせて」」コメント出演